

# 山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター主催 第4回緩和ケア看護師教育プログラム開催報告

緩和ケアセンター事務局

令和2年11月23日～11月30日の7日間の視聴期間を設け、山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター主催第4回緩和ケア看護師教育プログラムを、Webで開催しました。

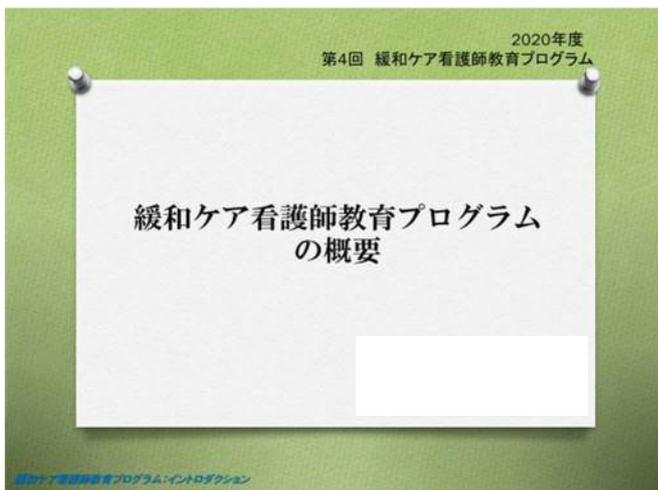
緩和ケア看護師教育プログラムとは、緩和ケアを担う看護師を育成するために日本看護協会が作成した「看護師に対する緩和ケア教育テキスト」に基づいた緩和ケアの基礎について学ぶ教育プログラムです。

本来は、山口大学医学部附属病院を会場として、講義だけではなく、グループで行う事例検討、3人で看護師、患者、観察者役を交替で演じるロールプレイを行います。この度は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み現地での開催を中止し、参加者を院内に所属する経験年数1年以上の看護師とし、講義をWeb形式で開催いたしました。

院内の専門・認定看護師3名を講師として、修了者は21名となりました。

研修終了後のアンケートでは、「麻薬等の薬剤の使用方法等、当院で行っている方法の説明があり、分かりやすかったです」「とても分かりやすいプログラム構成でした。資料も理解しやすいようにまとめて下さってありがとうございました。以前、ELNECに参加したのですが、その復習ができた事や、新たに専門家への橋渡しについて詳しく学ぶことができました。ハンドブックやサポートブックも今後、活用させていただきます」「今一番悩んでいたコミュニケーションについて学べてよかったです。また、病棟によく来てくださっている緩和ケアNsさんたちに相談させていただいたり、多方面から緩和ケアの連携をできるようになっていきたいです」など多くの意見が寄せられ、有意義な研修となり無事修了することが出来ました。

本プログラムは来年も開催予定です。より多くの皆様のご参加をお待ちしております。



## 緩和ケア看護師教育プログラムの構成

- イントロダクション【5分】
- M1:緩和ケアの概要【10分】
- M2:意思決定支援【60分】
- M3-1:苦痛緩和(疼痛)【45分】
- M3-2:苦痛緩和(疼痛以外の症状)【60分】
- M4:専門家への橋渡し・連携【50分】
- まとめ

